

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもプラス宜野湾教室		公表日 令和 8年 4月 30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・個室があればより良くなります。道具や仕切りなどを活用し場面で区切り空間を分けられるようにしています。人数が増え狭さを感じ活動を2回に分けています。	・個室があれば尚良いと考えます。 ・教室がワンルームなのでもう一部屋ほしいところ、近場に無いか探し中です。 ・幼児が静かに過ごす部屋があれば良いと思っております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・事前の打ち合わせ等を行い活動内容や進め方を確認しています。	・一対一児童が多く、トラブルなどで切り替えが必要な際に職員数が少なくなります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・掲示物や仕切りなどで良い環境になるよう配慮・工夫がされています。 ・利用者に応じて整備はされています。	・賃貸のためバリアフリー化の限界を感じます。 ・主体的に体を動かせるようもっと改善できると感じます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・難聴児に対しての視覚的な情報物を作成中です。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・静の部屋が確保されています。 ・ワンルームではあるが仕切りや簡易テント、半個室の静養室などで着替え場所を作っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0		・もう少し意識して行ってみたいです。 ・Dの実行に時間を要しているのもう少しスピーディに行いたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・全職員で共有しています。	・シフト制の職員への周知を徹底していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・日々のミーティングや定期的に行われる管理者面談等で工夫しています。	・シフト制の職員への周知を徹底していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	・保護者様からの評価はあります。	・第三者評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		こどもプラスホールディングス本部より定期的に動画研修の配信があり視聴研修を行っています。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		・シフト制の職員への周知を徹底していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・保護者や児童に聞き取りを行い作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・支援会議を行う事で共通理解を行いながら検討をしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・支援会議にて共通理解を行っていますので計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・児童に沿った設定を行っています。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・日々担当制で立案、活動は全体でサポートする体勢です。 ・イベントは全職員で協力しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・その日通所する児童の特性により、職員の配置を考慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・児童に合わせて活動内容を設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・ミーティングノートを活用し、全職員で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・その日で出来ないときは翌朝行っています。 ・緊急性があれば当日中に行い、翌日は振り返りで行っています。	・支援に必要な共有すべきことはミーティングノートに全て記載していつでも振り返り確認できるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・日々の記録は残しており、定期的に検証を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・定期的に支援会議を行い見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・児童発達管理責任者が主に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0		・地域の児童発達支援センターへは日頃からお声掛けを行っていますが、必要に応じてのスーパーバイズや助言等を受ける機会がない状況です。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	・地域の子どもの交流の機会は多いです。 ・あちこちの児童館や公園を利用しています。	・シフト制の職員への周知を徹底します。 ・保育所との交流はほとんどないので今後検討材料として考えていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時などに保護者と日々の共有を行う事で共通理解を図っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	・毎月お手紙を配布しています。 ・LINEを活用し、情報提供しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時以外でも必要に応じて行っています。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・定期的に聞き取りを行っており課題の確認を行っています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	・児童発達管理責任者が説明を行っています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・家族支援を活用し、必要に応じて声掛けを行い機会を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	・父母の会を設けておらず、夏や冬に開催する参観日やお祭り等で保護者が集い積極的に話をする場を設けています。兄弟姉妹とも交流する機会を設けています。	・イベントを開催し交流の場を作る機会を今後も作っていきたいです。 ・保護者同士がお互いのお話ができるような取り組みを今後考えていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・ご意見ボックスの設置。 ・電話、LINE、対面での関わりの中で要望等に付いて都度対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	定期的にホームページのブログを更新しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・施錠できる保管庫にて書類を管理するなどしています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・絵カードや掲示物を活用しています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	・公民館のイベントや会など場所を提供しています。	・招待するイベントは未だ行ったことがないので今後検討します。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		・発生を想定した訓練が多く行う機会が少ないので今後検討します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・定期的に避難訓練等を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		・詳しい予防接種歴やてんかん発作、併せて熱性けいれんの有無を知っておきたいです。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・アレルギー品目の確認を徹底したうえで、他の児童とは個別対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・ヒヤリハットの内容を職員間で報告し記録に残す事で再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・定期的に動画研修を視聴しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	・他書があった際の記録（ミーティングノート）から共有し、必要性を話し合うことが出来ます。	